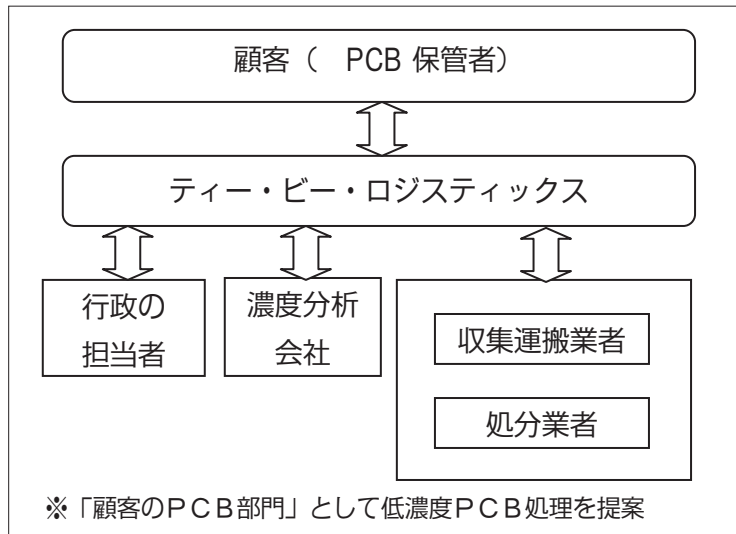


ティー・ビー・ロジスティクス

PCBの現状を把握し処理推進

「顧客のPCB部門」 最適な管理・処理提案

「行政に届出を行っているPCB機器の濃度を示す書類が見つからない」
 「PCB保管庫の扉を開けたらトランスから油が漏れていた」
 「大雪の後、保管庫の屋根が崩れ、コンデンサが倒れていた」
 「新たに、トランスとコンデンサが使用されていることが判明した」



これは、ティー・ビー・ロジスティクス(埼玉県八潮市、津田一正社長)がこれまで低濃度PCBの処理を提案した顧客の一例である。

現地確認や書類確認を行うと、これまで知らなかったPCBの状態が見えてくることある。長年保管されていたPCBをどのように管理し、どのように処理したらよいか、担当者にとってやっかいな廃棄物、それが「PCB」である。

同社は、顧客から業務委託を受け、日々、業務を進めている。一言でいうと「顧客のPCB部門」だと言えよう。図に示すように、同社は、PCBの関連機関である行政の担当者、濃度分析会社、収集運搬業者、処分業者との調整や交渉を行いながら、その結果をPCB担当者に報告し、最適な管理と、最適な処理の提案を行っている。

先の事例では、書類整備、漏洩対策、汚染状況の把握、PCB濃度分析を経過、処理が完了した。

同社はこれまでの経験から、今必要なのは、「PCBの保管状態は大丈夫か」、「必要な書類があるか」を確認し、そして「処理費用の見積りを取得」し「社内に伝達する」ことだと考えている。

2017年4月には消費税の増税も控えていることから、PCB処理までいくらかかるのか、その費用を把握し、できれば、消費税の増税前に処理したいものである。

PCB廃棄物には、高濃度PCBに分類される、安定器やトランス・コンデンサもある。同社は、低濃度PCBとともに最適な管理と処理を提案している。

低濃度PCBのご提案

- 収集運搬業者と処分業者はどこにするべきか？
- 増税前に処理できるように、処理計画を整えたい…

そんなときは
当社にお任せ下さい！

Point 1

処理業者の組み合わせにより適正費用を算出します。

Point 2

消費税の増税前に処理できるように処理計画を策定します。



PCB(安定器・トランス・コンデンサ)の適正処理お任せ下さい！

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社 環境ソリューション部

TEL:048-994-1311 FAX:048-994-1315 mail: info@t-b-l.co.jp